

5集落1農場方式 ホタルの里を未来の子供たちへ (農事組合法人 吉野ホタルの里ファーム)

<法人の概要>

所在地：福井県永平寺町松岡・吉野地区

設立：平成18年3月

資本金：631万円 売上高：3,000万円（平成26年）

構成員（議決権）：112名（うち農業従事者5名）

役員：6名（うち農作業従事3名）

従業員数：常時雇用者5名、臨時雇用者8名

経営面積：56ha（うち借入56ha）

基幹農作業受託面積：56ha

作付作物：米36ha、大麦20ha、そば19ha、野菜1ha



事務所・倉庫・乾燥施設を備えている

田植え作業はオペレーターを中心に協働で

<営農を開始するまでの状況>

松岡・吉野地区は、永平寺町の南西部に位置し、四方を山地に囲まれた中山間地域で一級河川荒川が地区内を縦断している。

ほ場の高低差が大きく、用水不足が問題になるなど生産条件の不利な地域であり、福井市街地へ車で20分と近いため兼業化率が高かった。

平成14年から始まったほ場整備を契機に、個別経営から5集落一本の営農組織の設立が検討され、平成18年に5集落1農場方式による「農事組合法人吉野ホタルの里ファーム」が設立された。

法人設立にあたっては、個別経営体所有の機械はすべて処分してもらい、法人が大型機械を整備した。これにより、大型機械による効率的・計画的な農作業が可能になるとともに、個別経営体は機械や施設への投資が無くなり、出役に応じた労務費などの収入があるなど赤字状態から脱却することが出来た。

「ホタルの里」としてホタルが生息できる環境づくりに努めている。

＜特徴的な取組＞

低コストで付加価値の高い米作りのためにレンゲをすきこみ、無農薬・無化学肥料で「レンゲ米」として栽培し、福井県特別栽培農産物の認証を得ている。栽培された無農薬栽培のお米については、ＪＡを介して地域の学校給食にも用いられている。

また、地区内外の幼稚園や小学校、中学校の農業体験を受け入れるなど、地域や子供達とのつながりを大切にしている。

２４年秋にはパイプハウス（９ｍ×５０ｍ）４棟を新たに整備し、野菜の栽培を拡大した。これにより秋から冬にかけての雇用の場の確保と経営の安定化を図っている。

＜今後の農業経営の展開方向＞

今後は、ハウス野菜の栽培技術向上と露地野菜の面積拡大を行い、地域のシニア層の活動と地域の憩いの場を提供していきたいと考えている。

また、野菜販売についてはＪＡとタイアップし販売先の増加を目指している。

＜今後法人化を進めようとしている方へのアドバイス＞

法人化により、地域農業の継続可能な体制を整備できた。また、信用が上がるので、資金を借りやすくなるというメリットがある。

法人化にあたって集落等で話し合いを行う際には、お年寄りの世代と次の世代とともに参加させる方が話がまとまると思う。また、法人（リーダー）が統率力を持って、法人の活動や農業政策等について組合員に説明し、理解を得ることが大切である。



田植え前の「レンゲ米」のほ場
レンゲをすきこみ無農薬・無化学肥料で栽培



地元幼稚園の芋掘り体験